江戸川区立瑞江小学校

5・6年　家庭科　評価基準

月	テーマ	題材	小題材	時数	目標	主な学習活動	評価の観点		
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4月	生活を見つめできることを増やしていこう	**学んで変わるよわたしたち** (ガイダンス) A(1)ア 教：表紙～p.7		1	○これまでの自分の成長を自覚し、なりたい自分をイメージしたりよりよい家庭生活について考えたりして2学年間の学習の見通しをもつことができる。	○これまでの学習をふり返る。 ○2学年間の学習内容について知る。 ○家庭科の学習の進め方について知る。 ○家庭科の学習を通してどんな自分に成長したいかを考える。	・自分の成長を自覚し、家庭生活と家族の大切さや家庭生活が家族の協力によって営まれていることに気づいている。		・自分の成長や家族・家庭生活について、2学年間の学習に見通しをもち、課題の解決に主体的に取り組もうとしている。
5月		**1 毎日の生活を見つめてみよう**（1 H） A(1)ア 教：p.8～9	①毎日の生活を見つめよう教：p.8	0.5	○毎日の生活を見つめて、生活を支える家族の仕事にはどのような種類があるかがわかり、どのように取り組んだらよいのかを考えることができる。	○生活を支える家庭の仕事に着目し、どのような仕事があるか見つけ、見つけたことを共有し、まとめる。	・生活を支える家庭の仕事にはどのような種類があるかわかる。	・家庭の仕事にどのように取り組んだらよいか考えている。	・毎日の生活を見つめ、意欲的に家庭の仕事を見つけようとしたり、どのように取り組んだらよいかを考えたりしている。
			②生活を支える家庭の仕事教：p.9	0.5		○グループごとに出た意見を発表し合う。 ○家の人がどのような工夫や配慮をしているか、考える。 ○家庭科を学んでできるようになりたいことを考える。			
		2　クッキング **はじめの一歩**（8 H） B（1）ア B(2)ア、イ 教：p.10～19	①なぜ調理をするのだろう教：p.10～13	1	○調理の手順や加熱用調理器具の安全な取り扱い方がわかり、湯をわかしてお茶をいれることができる。	○調理するとどのようなよいことがあるのか発表する。 ○ガスこんろの安全な使い方を考え、点火・消火の練習をする。 ○湯をわかしてお茶をいれる。 ○調理の流れを知り、調理用具の名称や使い方を確認する。	・加熱用調理器具の安全な扱い方がわかり、湯をわかして、お茶をいれることができる。		・ゆでる調理の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・ゆでる調理の仕方について工夫し、実践しようとしている。
			②ゆでて食べよう教：p.14～17	4	○青菜のゆで方がわかり、ゆでることができる。 ○じゃがいものゆで方がわかり、ゆでることができる。	○青菜のゆで方を知り、ゆでる。 ○じゃがいものゆで方を知り、ゆでる。 ○ゆで方の違いを確かめる。 ○青菜とじゃがいものゆで方の違いについて考える。	・調理に必要な用具や食器の安全で衛生的な取扱い及び、加熱調理器具の安全な取扱い、材料に応じた洗い方、調理に適した切り方やゆで方、後片付けについて理解しているとともに、適切にできる。	・おいしく食べるために、ゆでる調理の仕方について問題を見いだし、課題を設定している。	
			③ゆでておいしい料理を作ろう 教：p.18～19	3	○必要な材料や手順を考え、調理計画を立てることができる。 ○調理に必要な用具や食品を安全で衛生的に取り扱い、ゆで野菜サラダを作ることができる。	○ゆで野菜サラダの調理に必要な物や作業の手順を考えて計画表を作成して、調理する。 ○実習のふり返りを実習計画表と記録カードに記入する。	・調理に必要な材料の分量や手順がわかり、調理計画について理解している。 ・材料に適したゆで方について理解しているとともに、適切にできる。	・おいしく食べるためにゆでる調理の調理計画について考え、工夫している。	
6月		**3 ソーイング** **はじめの一歩**（8H）B(5)ア、イ 教：p.20～27	①なぜ針と糸でぬうのだろう教：p.20	0.5	○この題材でできるようになること、製作するものなどを具体的に知り、見通しをもって取り組む。	○布製品の良さや特徴に気づく。 ○裁縫用具調べをする。 ○針と糸の準備を学び、なみ縫いをする。	・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・練習縫いをする中で、糸の準備の仕方やそれぞれの縫い方の特徴をつかみ、適切に縫うためにはどうしたらよいか考えて取り組んでいる。	・手縫いによる目的に応じた縫い方について、自らの課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
			②どのような用具や方法でぬうのだろう 教：p.21～24	4.5	○玉結びと玉どめの役割と作り方がわかり、適切な位置に適切な大きさの玉結びを作ることができる。 ○なみ縫い・返し縫いの仕方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。 ○それぞれの縫い方の特徴から、その用途を考える。 ○ボタン付けの仕方がわかり、じょうぶにボタン付けをすることができる。 ○かがり縫いの仕方がわかり、適度な大きさで縫うことができる。	○玉結び、玉どめをする。 ○なみ縫い、返し縫いをする。 ○ボタン付け、かがり縫いをする。			
			③手ぬいを生活に生かそう教：p.25～27	3	○自分の生活を豊かにするための小物を考え、作り方の手順を考え、見通しをもって製作できる。 ○自分の製作をふり返って、できるようになったことやこれからもっとやってみたいことなどを考える。	○自分の作りたいものを考える。 ○作品作りの手順を知る。 ○しるしつけ、裁断をし、縫う。 ○小物作りをふり返る。	・製作に必要な材料や手順がわかる。 ・手縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするための布を用いた物の製作に、習得した技能を適切に用いてよりよい方法を考えながら取り組んでいる。	
7月		**4　整理・整とんで快適に**（4H） B(6)ア、イ C(2)ア 教：p.28～33	①なぜ整理・整とんをするのだろう 教：p.28～29	1	○整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定する。	○教科書p.28の写真を見て、整理・整頓をしないとどのような困り事があるか考え、教科書の表に書き、意見を出し合う。 ○学校の中の整理・整頓の様子を観察する。 ○調べたことを「よいと感じた点」「改善の必要があると感じた点」に分けてワークシートへ記入し、発表する。		・整理・整頓の仕方について問題を見いだして課題を設定している。	
			②整理・整とんをしよう教：p.30～31	2	○住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。 ○住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。 ○環境に配慮した物の使い方について理解する。	○自分の道具箱の中の物を全て出し、入っている物の量や種類を確認する。 ○道具を整理する。 ○道具の収納方法を考え、箱や仕切り等を使って整頓する。 ○友達同士でアドバイスし合い、必要に応じて改善する。 ○不用な物を処分する前にできることはないか考え、意見を出し合う。	・住まいの整理・整頓の仕方を理解するとともに、適切にできる。 ・環境に配慮した物の使い方について理解している。		・住まいの整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
			③身の回りを快適で安全にしよう 教：p.32～33	1	○整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫する。 ○課題の解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現する。 ○整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとする。 ○整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりする。 ○課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとする。	○道具箱の整理で出た不用品を見て、なぜ同じ物や不用品が増えるのか考え、意見を出し合う。 ○生活の中で不用になった物をごみにしないためにはどうしたらよいかグループで話し合う。 ○物を生かして使う工夫として、3Rや5Rの考え方を確認して、自分の生活への生かし方を考える。 ○家の中で整理・整頓を行う場所を決める。 ○学習したことを生かしながら「整理・整とん マイプラン」を計画し、手順等をわかりやすくまとめる。 ○実践報告会をする。		・整理・整頓の仕方について実践に向けた計画を考え、工夫している。 ・整理・整頓の仕方についての課題の解決に向けた一連の活動について、考えたことをわかりやすく表現している。 ・整理・整頓の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。	・整理・整頓の仕方について工夫し、実践しようとしている。 ・整理・整頓の仕方について、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9月	生活を見つめできることを増やしていこう	**5　できるよ家庭の仕事** （2H） A(2)ア、イ 教：p.34～36	①自分にできる仕事を見つけよう 教：p.34	0.5	○学んだことをふり返って自分にできる仕事を見つけ、実行の計画を立てる。	○家庭科で学んだことをふり返り、できるようになったことやわかったことを共有する。		・学んだことを生かして、自分なりの仕事の工夫を考えて計画を立てている。	・課題に向かって意欲的に取り組んでいる。
			②工夫して仕事をしよう教：p.35	0.5		○自分にできそうな家庭の仕事にはどのようなものがあるか考え、自分が取り組む仕事を決めて、計画を立てる。 ○自分が取り組む仕事を発表し合う。			
			③続けよう、家庭の仕事教：p.36	1	○自分の仕事として、工夫しながら続けることができる。	○「わたしの仕事　ふり返りカード」を発表し合う。 ○友達の発表を聞いて、自分の生活に生かしたいことを話し合い、ノートや教科書の記入欄に書く。		・仕事を工夫して実践したり、実践をふり返り改善しようとしたりしている。	・自分の仕事を続けている。
10月		**6 ミシンで楽しくソーイング**（11H）B(5)ア、イ 教：p.38～47	①ミシンぬいのよさは何だろう 教：p.38	0.5	○身の回りの生活にはミシンで作られているものが多いことに気づき、ミシンに関心をもち、ミシン縫いの特徴がわかる。	○ミシンは何をするための道具か、どのような特徴があるか考える。 ○身の回りにある、ミシン縫いでできている物を探し、特徴について観察し、話し合う。		・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作（ミシン縫い）について問題を見いだして課題を設定している。	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方について工夫し、実践しようとしている。
			②ミシンの使い方を知ろう教：p.39～41	4.5	○ミシンの安全な使い方を知り、ミシンの準備やから縫いができる。	○ミシン縫いの準備をする。 ○から縫いをする。	・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。		
			③ミシンを使って製作しよう教：p.42～47	6	○ミシンを使って布を用いて製作するものを考え、製作計画を立てて製作し、活用することができる。	○布を用いて生活に役立つものを製作するために必要な用具や製作の手順を考えて計画表を作成する。 ○製作する。 ○製作学習で学んだことをどのように生活に生かしていけるか考える。	・製作に必要な材料や手順がわかり、製作計画について理解している。 ・ミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切にできる。	・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、製作計画を考え工夫している。 ・生活を豊かにするために、布を用いた物の製作について、実践を評価したり、改善したりしている。	
11月 12		**7 食べて元気に**（11H） B(1)ア B（2）ア、イ B（3）ア 教：p.48～56	①なぜ毎日食事をするのだろう 教：p.48	0.5	○なぜ、食事が必要なのかに気づく。	○日々の食事をふり返り、食事と健康との関わりを考える。	・食事の役割がわかり、日常の食事の大切さについて理解している。		・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理の仕方や栄養を考えた食事について工夫し、実践しようとしている。
			②ご飯とみそ汁を作って食べよう 教：p.49～55	9.5	○ご飯とみそ汁作りのための米やみその特徴がわかる。 ○炊飯の仕方を理解するとともに、技能を身に付ける。 ○和食の基本となるだしや、みそ汁の調理の仕方を理解するとともにみそ汁作りの技能を身に付ける。 ○ご飯とみそ汁の二品を同時に仕上げることができるように、ご飯とみそ汁作りの計画を立てる。 ○ご飯とみそ汁作りの課題を解決しておいしいご飯とみそ汁の調理をする。 ○食品の栄養的な特徴について課題の解決に向けて主体的に取り組み、五大栄養素の種類と体内での働きがわかる。 ○食品に含まれている栄養素の主な働きにより、食品を3つのグループに分けることができる。	○伝統的な日本の食事の基礎である米とみそについて調べる。 ○米とご飯の違いを知り、おいしくご飯を炊くための調理の仕方を調べる。 ○湯とだし汁にそれぞれみそを溶かしたものを飲み比べし、だしの重要性を感じる。 ○煮干しを分解して観察し、どこをだしで使用するかを調べる。 ○ご飯とみそ汁の調理時間と作業を確認し、どのように工夫したら能率よく調理できるか考える。 ○手順に従って調理を行う。 ○食べたものがどうなるか、教科書 p.54「食べ物のゆくえ」を見て考える。 ○食品には生命を保ち、活動し成長するために必要な栄養素が含まれていることを知る。 ○食品を食べた際の体内での主な働きは、その食品に含まれる栄養素によって違うことを知り、食品が3つのグループに分けられることを知る。	・米飯及びみそ汁が日本の伝統的な日常食であることを理解している。 ・日本の伝統的な配膳の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・米飯の調理に必要な米や水の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・みそ汁の調理に必要な材料の分量や計量、調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。 ・体に必要な栄養素の種類と主な働きについて理解している。 ・食品の栄養的な特徴について理解している。	・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理の仕方について問題を見いだして課題を設定している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画について考え、工夫している。 ・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について、実践を評価したり、改善したりしている。	
			③日常の食事に生かそう教：p.56	1	○栄養を考えた食事やご飯とみそ汁の調理の仕方についてふり返り、生活を工夫し、実践しようとする。	○グループでご飯とみそ汁の調理実習の際に出てきた課題とその解決方法について、やってきたことを共有する。 ○グループで出てきたことを発表し、課題ごとに整理する。 ○今後健康に過ごすにはどうしたらよいかや、ご飯とみそ汁作りの新たな課題について考えをまとめる。		・おいしく食べるために米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方についての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。	
1月		**8　生活を支える物やお金**（6H）C(1)ア、イ C(2)ア 教：p.58～65	①物やお金の使い方を考えよう 教：p.58～59	1	○消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解する。	○毎日の生活の中で、自分や家族が何にお金を使っているか考え、意見を出し合う。 ○家族の生活を支える金銭は、どのようにして得られるのか考える。 ○「収入」と「支出」のバランスを理解する。	・消費者の役割がわかり、物や金銭の大切さを理解している。		
			②買い物の仕方を考えよう教：p.60～64	2	○物や金銭の計画的な使い方について理解する。 ○買い物の仕組みについて理解する。 ○身近な物の選び方、買い方について理解する。 ○購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、それに係る技能を身に付ける。 ○身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○買い物での失敗を防ぐにはどうすればよいかを考えて話し合う。 ○買う前に考えるポイントをまとめる。 ○「買う人」と「売る人」のそれぞれの立場に立ったロールプレイングを行って売買契約の流れを確認する。 ○買い物の情報を集めるための手段を考える。 ○品物を選ぶためのポイント（観点）を考える。 ○品質や安全性を知るためのマークの見方、代金の支払い方、買い物の記録の仕方を知る。 ○情報を比較して自分が選びたい筆箱と理由を話し合う。 ○自分の選んだ商品の環境への配慮について確かめる。	・物や金銭の計画的な使い方について理解している。 ・買い物の仕組みについて理解している。 ・身近な物の選び方、買い方について理解している。 ・購入するために必要な情報の収集・整理を理解するとともに、適切にできる。		・身近な物の選び方、買い方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
							知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2月	生活を見つめできることを増やしていこう		③これからの生活に生かそう教：p.65	3	○身近な物の選び方、買い方について、問題を見いだして課題を設定している。 ○身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ○身近な物の選び方、買い方について工夫し、実践しようとしている。 ○身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。 ○身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。	○自分に必要な物の選び方、買い方について、買い物の計画を立てる。 ○友達と実践結果を報告し合い、自分の選び方や買い方に改善点はないかチェックする。 ○これまでの学習をふり返るとともに、教科書p.65を参考にして、「買い物マイルール」を作る。		・身近な物の選び方、買い方について、問題を見いだして課題を設定している。 ・身近な物の選び方、買い方について考え、工夫している。 ・身近な物の選び方、買い方について、実践を評価したり、改善したりしている。	・身近な物の選び方、買い方について工夫し、実践しようとしている。 ・身近な物の選び方、買い方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
			①なぜ衣服を着るのだろう教：p.66	0.5	○生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとする。	○教科書p.66の写真を見て、いろいろな衣服を着ている理由を考える。 ○今日の衣服はだれが、どんなことを考えて選んだかを思い出し、自分の課題を設定する。			・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
			②衣服の働きを知ろう教：p.67～68	1.5	○衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解する。	○衣服の働きについて、資料や実験を通して調べる。	・衣服の主な働きがわかり、季節や状況に応じた日常着の快適な着方について理解している。		
		9　着方の工夫で快適に （3H）B(4)ア、イ 教：p.66～69	③快適で安全な着方を工夫しよう 教：p.69	1	○日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。 ○生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。	○教科書P.69の本文を読み、「生かす　深める」の「山登りにはどのような衣服がよいだろう」について考える。 ○考えた衣服について発表する。		・日常着の快適な着方について問題を見いだして課題を設定し、様々な方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・生活をよりよくしようと、衣服の主な働きや季節や状況に応じた日常着の快適な着方について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
3月		**１０ 暖かい住まい方で快適に**（3H）B(6)ア、イ C(2)ア 教：p.70～73	①住まいはなぜ必要なのだろう 教：p.70	0.5	○寒い日を快適に過ごすために、工夫していることに気づく。	○住まいがどのような働きをしているか考える。 ○寒い季節の生活で困っていることや不便なことを考える。 ○普段の生活をふり返り、暖かく過ごすための工夫を話し合い、発表する。	・住まいの主な働きがわかり、季節の変化に合わせた生活の大切さについて理解している。		・快適な住まい方について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
			②暖かく快適な住まい方を考えよう 教：p.71～72	1.5	○寒い季節の住まい方について課題を見いだし、快適に過ごすための工夫を考えることができる。	○学校の住環境を調べ、ワークシートに記入していく。 ○調べたことからわかったことを話し合い、発表する。 ○明るさや暖かさが足りない場所ではどうしたらよいか考える。	・季節の変化に合わせた住まい方について理解している。	・季節の変化に合わせた住まい方について問題を見いだして課題を設定している。	
			③暖かく快適な住まい方を工夫しよう 教：p.73	1	○自分の生活に合わせて工夫し、快適な住まい方を実践することができる。	○学校の住環境調べや家庭で調べてきたことを発表する。 ○今までの学習から、自分の住まい方に合った快適に住まう工夫を考える。		・季節の変化に合わせた住まい方について考え、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	・快適な住まい方について、課題解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。
		１１ いっしょに「ほっとタイム」（2H） A(3)ア、イ 教：p.74～77	①ほっとするのは、どのようなときだろう 教：p.74	0.5	○家族や周囲の人々との触れ合いや団らんに関心をもち、その大切さがわかる。 ○家族や周囲の人々との触れ合いや団らんを楽しくすることや、自分の思いの伝え方について計画を考えたり、工夫したりする。	○家族(周囲の人々)との「ほっとするとき」を話し合う。 ○我が家の「ほっとタイム」の計画を立てる。 ○「ほっとタイム」の計画を友達と見合ったり、実践に向けて見通しをもったりする。	・家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。	・家族とのよりよい関わりについて、問題を見いだして課題を設定している。 ・家族とのよりよい関わりについて、実践に向けた計画を考え、工夫している。	・家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ・家族とのよりよい関わりについて、課題の解決に向けた一連の活動をふり返って改善しようとしている。 ・家族とのよりよい関わりについて工夫し、実践しようとしている。
			②ほっとタイムの計画を立てよう 教：p.75	0.5					
			③続けよう！いっしょにほっとタイム 教：p.76～77	1	○家族や周囲の人々など、自分の身近な人との触れ合いや団らんをふり返って考えたことを話し合い、これからの自分の生活の中で生かすことを考え、工夫することができ る。	○「ほっとタイム」の実践をふり返る。 ○友達の発表を聞いて、自分の家族のほっとタイムにも生かせそうなことを考え、計画に加える。 ○これからの自分と家族の触れ合いや関わりについて、考えたことをまとめる。		・家族とのよりよい関わりについての課題解決に向けた一連の活動について考えたことをわかりやすく表現している。	